

新企画

契約実務、債権管理など実務に直結するポイントと対応策を学ぶ

 2021
 12/17(金)
 10:00～17:00

 契約の基本知識と
 契約書作成の実務

講師 千葉総合法律事務所 弁護士 千葉 博氏



【略歴】 平成2年東京大学法学部卒業。平成3年司法試験に合格、弁護士登録。平成6年高江・阿部法律事務所入所、現在は千葉総合法律事務所を開設。専門分野は民事・商事・保険・労働・企業法務。また、これまで関東学院大学・神奈川大学・早稲田経営学院・LEC東京リーガルマインドの各講師、銀行系セミナー講師を精力的に務め、わかり易い講義には定評がある。

【会場】 りそな総合研究所 東京本社セミナールーム

特色

契約書が威力を発揮するのは、取引先の経営状況の急激な悪化など、緊急時においてです。コロナ禍は、「緊急時」が、意外に身近にあることを私たちに思い知らせるものでした。加えて、2020年4月1日に施行された民法（債権法）改正で、売買、保証、定型約款、消滅時効、債権譲渡などのルールが変わりました。使い古しの契約書のひな形では、新時代の契約管理に遅れをとることになります。本セミナーでは、同改正法の重要ポイントを踏まえつつ、契約・債権管理などの実務において企業がどのように対応すべきかを詳しく解説します。

カリキュラム

※録音・録画はご遠慮下さい。

1. 契約に関する基礎知識

- (1)「契約」とは
- (2)「契約書」の必要性
- (3)契約書作成の目的を考える
- (4)契約書における解釈のルール

2. 契約書の外せないポイントを再度チェック！

- (1)契約書の内容と主な条項
- (2)トラブル防止のためのチェックポイント

3. 2020年4月施行民法（債権法）改正の概要と契約実務への影響

- (1)実務への影響を概観する
- (2)「定型約款」を活用する
- (3)契約書の書式への影響
 - ◆損害賠償をめぐる変更
 - ◆解除の要件が変わる

4. 債権管理への影響と対応

- (1)時効制度の変更
- (2)法定利息の改正
- (3)債権譲渡制限特約の活用法等
- (4)連帯債務・保証債務等の債権管理

5. 契約の書式を見直す

- ～各種契約の規律変更による影響～
- (1)売買
 - (2)賃貸借
 - (3)請負
 - (4)委任
 - (5)その他の契約

受講方法

本セミナーは、『会場受講』東京（木場）開催です。

受講票をご持参の上、セミナー当日、開催時間までに「りそな総合研究所 東京本社 セミナールーム」にお越しください。
 東京都江東区木場1-5-25 深川ギャザリアタワー S棟14階（東京メトロ東西線「木場駅」）

※昼食ならびに無料駐車場のご用意はございません。

受講料

※無料券をご使用の際は、ホームページのセミナーお申込みフォームの通信欄に「無料券使用」とご入力ください。

会員 26,400円 *参加者1名様、消費税等、テキスト・資料代を含む

*「無料券」・「優待サービス」をご利用いただけます。

一般 34,100円

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のいずれかのお支払い方法になります。

一般の方：振込先について事務局よりご連絡いたします。セミナー開催4営業日前までにお振込みください。

*キャンセルはセミナー開催2営業日前の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料の全額をいただきます。

なお、参加申込みが催行可能人数に満たない場合や講師の病気、天災等により、開催を中止させていただく場合がございます。

お申込みは、当社HPよりお願いいたします。 <https://www.rri.co.jp/seminar/>

りそな総研セミナー 検索

お問合せ先

りそな総合研究所 研修セミナー部（東京） ☎03-5653-3951 ✉edu-tky@rri.co.jp